Vol.24

Tezukayama
Gakuin
Izumigaoka
Dousoukai

青雲 Seiun

Interview
谷口　隆 インタビュー

輝く人 4人からのメッセージ
恩師から 小林先生・砂山先生
新幹事大学生キャンパスライフ
同窓会Report
幹事's 同窓生探訪
泉ヶ丘通信
Club Activity Report 2017
新任のご挨拶
卒業生母校に帰る
アドミッションセンターより
第7回「青雲会」ゴルフコンペ
第9回 泉ヶ丘同窓会総会
同窓会より
幹事総会報告
会則29年度改訂版
会長のご挨拶
平成29（2017）年度 泉ヶ丘同窓会組織図・役員構成
運営費の寄付のお願い
泉ヶ丘 東京同窓会のご案内

Interview インタビュー

谷口　隆　Takashi Taniguchi

普通科２期生　大阪歯科大学卒

今の我々の思いを引き継いでほしい。

青雲20号の表紙で谷口さんの娘さんが踊っている写真が掲載されたことを喜んでおられました。

Profile

大学卒業後、勤務医を経て平成11年、生まれ育った岸和田で谷口歯科クリニックを開業しました。長女は帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校を卒業後、昨年大阪歯科大学に入学、長男は高等学校3年在学しています。趣味は音楽鑑賞、ピアノ演奏、スポーツ。

―本日はよろしくお願いします。谷口さんは現在、泉ヶ丘校のPTA会長をお務めになっていらっしゃいます。PTAといえば、漠然と「保護者と学校の橋渡しをする」ような活動をしているといったイメージがあるのですが、泉ヶ丘校のPTAはどういったものなのでしょうか？

まずは生徒たちの安心・安全を全力でサポートするのがPTAの役割だと考えています。まず、そのことを念頭においており、学校とも思いは共有しています。

―どのようないきさつでPTA会長をされることになったのですか？

私の場合は脇田先生から直接依頼があったんです。その時は、まだ自分に会長を務める自信が持てなくて、一旦はお断りしました。その後、しばらくして再び依頼をいただいたんですが、たまたまその時期が脇田先生が定年退職される直前でもあったんです。そこで、悩みもしましたが在学中にすごくお世話になったことを思い出し、恩返しと言うとおこがましいですが、何らかの形で感謝の気持ちを伝えられるならと考え、引き受けることにしました。妻が副会長を務めていましたので、実務についてはいろいろと教わりましたね。

―PTAとして、具体的にはどのような活動をされていますか？

主だったものとしては、実行委員会というものがありまして、年４回集まっています。いくつか委員会があるのですが、それぞれの打合せや、アイデアの提案、イベントが行われた次の回では、そのイベントの報告や、反省点があれば改善策を話し合うといったことをしています。

それ以外には、泉ヶ丘祭や体育祭への参加や、毎年、学校側や委員の側からのリクエストや推薦に基づいて講師を招いて、文化ホールで講演してもらう教育講演会などがあります。毎回、およそ100名ほどの方がお越しくださいます。それから、公開講座というものもあります。こちらは、座学に留まらず文化やものづくりなどをテーマに沿って広く学ぼうという企画で、最近は会員の交流も兼ねて日帰りのツアーを開催しています。

―PTA内での役員や役割などはどのようになっているのでしょうか？

役員としては会長、副会長、会計、庶務があり、現在は6名で構成されています。そして先ほど触れましたが、学芸、厚生、体育、生活、会計監査の各委員会があり、それぞれに委員長がいます。

―最近、メディア等ではPTAのなり手がいなかったり、PTAそのものの存在も危ぶまれるような実情があるようですが、泉ヶ丘校についてはどうですか？

ありがたいことにみなさんとても協力的に活動してくださっています。私自身もスケジュール調整など大変なこともありますが、任期中は少しでも力になれたらと思っています。

―泉ヶ丘校の歴史の中で、谷口さんが卒業生として初めてのPTA会長ということになりますが、保護者の立場から見た泉ヶ丘校の印象はどのようなものでしたか？

一言でいうと、私自身が在学時に感じた良さがそのまま残っていました。

私たちの在学時と比べて、開校間もない頃の固さがとれたり、男女併学から共学になって、校内の雰囲気が変わったりというのはありますが、芯の部分、とりわけ先生方の誠実さというのは変わっていないと感じましたね。そこは全くブレていないですね。その先生方がまだ在籍されていらっしゃるのも心強いことです。

生徒一人ひとりの個性を大事にしながらも、勉強、生活など、どんな面でも一緒になって考えてくださるところは今も同じだなと思います。我々の時代もそうでしたが、先生方に相談に乗ってもらいやすかったり、それに対して真剣に向き合ってくださるのは泉ヶ丘校ならではじゃないでしょうか。

保護者の立場になって改めて、当時感じた自分の思いは間違ってなかったと確信しましたね。

私事になりますが、娘が在学中はバレエに打ち込んでおりまして、それこそ受験ギリギリまで練習やコンクール出場をしていたのですが、それでも現役で志望校に合格することができたのは先生の応援があったからこそだと思っています。

もう一点、強く印象に残ったのは、入試が終わると校内に合格者を掲示するんですが、その進路がどこであっても、すべて掲示して努力を讃えてくれるんです。進学校としては、国公立や難関大に合格した実績を強調したいところを、本人が決めた進路ならその目標を達成したことを分け隔てなく祝ってくださるというのも、この学校ならではの温かさだなぁと感銘を受けましたね。

―そのお話を聞いて、こちらも改めていい学校だったんだなと再確認しますね。

総合的に見て、いい所を伸ばしながら変わっている、成長しているなというのはありますね。

生活面の指導でもそうですが、規則規則で縛ってしまうのではなく、自分で考えて行動できるように促してくださるので、保護者として安心して任せられます。

いい先生方に恵まれている。その一言に尽きますね。

―そうなんですね。それでは、これからの泉ヶ丘校に望むこと、期待することなどはありますか？

そういうお話が出るかと思って事前に私なりに考えてみたのですが、今の時点で学校に対する不満ですとか、こうして欲しいといった要望がまるでないんです。PTA会長として、保護者の方々からさまざまなご意見をお聞きしますが、そのほとんどは学校のことを考えた建設的なご意見でした。

もちろん、学校側の考えを伺う機会も多いですし、その内容は本当に生徒たちのためによく考えて動いてくださっているんだなと感じます。先ほども言いましたが、泉ヶ丘校は、いい所を残しながらどんどん進化しています。それは私だけでなく、他の役員や委員の方とも同じ思いでいます。今のPTAの雰囲気はすごくいいので、そういう意味でも今後も泉ヶ丘校は、このスタンスで進んでいって欲しいし、これからのPTAを担う方にも今の我々の思いをできるだけ引き継いでいってもらえることを期待したいですね。

―なるほど。今の学校と保護者の良好な関係を保ちつつ、さらなる発展を願いたいですね。

最近では、卒業生のお子さんが泉ヶ丘校の生徒というのをよく見るようになりました。それは卒業生のみなさんが泉ヶ丘校に対していいイメージを持っているからこそ、大切なお子さんを通わせようと思われるわけで、この流れが続いていけばいいなと思いますね。

―ここで、谷口さんご自身の在学中の思い出をお聞きしたいのですが、印象に残っている出来事などありますか？

そうですねぇ。思い出と言えるかどうか分かりませんが、３年間、毎日、岸和田の実家から学校まで自転車で通っていました。片道30キロ弱ほどありましたね。

―えっ！そうだったんですか！それはすごいですね！

３年間で４台の自転車を乗りつぶしました。初めの頃は制服だったんですが、ズボンが破れてしまうので、途中から私服で自転車に乗っていました。生徒指導の先生に、「なんで私服で来たんだ?」と注意されたこともありました（笑）。

―それでは最後に、同窓生に向けたメッセージをお願いします。

この学校は、ほんとうにいい先生が揃っている学校です。温かみを感じ、人の話を良く聞いてくださる先生がいる学校です。卒業してからも、どんな形でも構いません。時々はいろんな話をしに、この学校に戻って来てください。

―ありがとうございました。

撮影協力／福壽堂秀信　帝塚山本店

輝く人

泉ヶ丘校を卒業し、今輝いている 卒業生をご紹介します。

『新たなるチャレンジ』

小林　昇史
（普通科7期生）
株式会社オーケー企画
代表取締役

泉ヶ丘校を卒業して26年が経ちました。

大学を卒業後、IT会社に入社。その後、独立をし早10年。そんな10年目の6月に【ROOM58】というコーヒースタンドをオープンいたしました。2月の事務所移転で阿波座駅近くの人通りの多い路面店になったので、知人がワークショップスペースを貸してほしいというのがきっかけでした。

ワークショップを行う際にケーキセットなどの提供を行うため飲食店営業許可を取得。そして「どうせならカフェ営業をしようか」という話に。今では、IT業の傍ら、カフェオーナーという全く異なるジャンルにチャレンジしています。

本業を生かし店舗デザインやWEBデザイン、チラシや名刺に至るまで自分たちで作り上げました。元々、自宅でもハンドドリップをするほどコーヒー好きでしたので、コーヒーショップをするということに抵抗はありませんでした。ただ、調べれば調べるほどコーヒー豆の歴史は深く、飲み比べれば飲み比べるほど産地によって味が全く違うことがわかり、新しい発見の毎日です。本当にワインによく似ています。

【ROOM58】の58（コバヤシなので58）にちなみ5月8日にオープンをしたかったのですが、豆にこだわりすぎてオープンが間に合わず。そんなこだわり抜いた豆は誰に飲んでいただいても自慢できるコーヒーになりました。コーヒーが苦くて飲めないという方も、コーヒーの味はよく分からないという方も、好きになっていただける味に仕上がっていると思っています。

もちろん、コーヒーだけでなく、紅茶にもこだわりました。どちらも芳醇な香りを堪能していただけるものとなっています。

飲食業は初めてですが、泉ヶ丘校時代の同級生が美味しいと言ってくれたのを励みに、何事にもチャレンジし続けようと思います。皆様も近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

『大切な同窓生のつながり』

岸本　行正
（普通科13期生）
弁護士

泉ヶ丘校を卒業したのは平成10（1998）年ですから、卒業して19年ということになります。

高校卒業後は大阪市立大学法学部に進学し、平成15（2003）年の司法試験に合格し、法曹になるための研修（「司法修習」といいます）を経て、平成18（2006）年に弁護士登録しました。

その後、大阪市内の法律事務所と、和歌山市内の法律事務所で勤務弁護士を経験した後、平成28（2016）年4月、堺の三国ヶ丘駅の近くに、「堺みくに法律事務所」という名前の個人事務所を独立開業しました。自分の名前ではなく地域名をつけたのは、将来的に共同事務所化して、規模を拡大していきたいと思っているからです。

独立後は、企業関係の相談、交通事故等の民事事件、相続・離婚等の家事事件や刑事事件まで幅広く取り扱う、何でも屋の「街弁」として活動しています。事務所のホームページに泉ヶ丘校卒業生であることを載せていると、卒業生の方から、私が泉ヶ丘校出身だからということで、ご相談のお申し込みをいただくこともあります。学生のときは全く意識していませんでしたが、同窓生のつながりは大事やなあと、今になって実感しています。

活動地域が堺になったこともあり、昨年度から、泉ヶ丘校同窓会の幹事の末席に加えていただいています。同窓会の幹事として泉ヶ丘校に足を運んだ際に、お世話になった先生方や、今では泉ヶ丘校の先生になった同級生とお話しするという楽しみができました。

青雲の寄稿のご依頼を受けて、あらためて過去の青雲を読み返してみると、法曹関係者の原稿をよく目にします。今後も法曹関係者の卒業生はますます増えていくことでしょうし、ゆくゆくは、「泉ヶ丘校法曹会」を立ち上げて、同窓生のつながりをより深めたいと思っています。

『卒業してから20年経った、今』

中山　知美
（国際科12期生）
専業主婦

昨年夏、同窓会に参加させて頂き、久しぶりに高校時代の多くの友人と再会することが出来ました。本当に不思議なのは、気持ちも会話もすぐ「あの時代」に戻ることが出来る、ということです。が、あれから二十年ちかくもの月日が流れました。

大学を卒業し、就職、結婚、そして今は、私も二人の男の子の母になりました。そして、毎日が子育てに追われるなか、上の息子が一才の時、ストライダーという乗り物と出会いました。初めは、三輪車の代わりにという気持ちで乗せていました。「そのストライダーにレースがあるよ」とご近所の方から話を聞き、息子が２歳になった時に初めてレースに出場をさせて頂きました。

その時見た子供たちの真剣な表情に感動し、その日から一つひとつ、一日一日、上を目指し、息子との二人三脚での練習の日々が始まりました。

といっても、まだ幼児。ぐずる日もあれば、体調の悪い日も。それでも、目標を立て、課題をクリアしていく。家族で真剣に。夫も息子も家族は戦友です。

そうして、いつしか私たち家族の目標は日本一、世界一を目指すことになりました。ストライダーを始めてから5年。2015年、アメリカで開催されたストライダーワールドチャンピオンシップに出場し、息子は世界チャンピオンになることが出来ました。スタートに立つ息子の背中は、５歳の小さな背中でしたが、沢山の努力と涙を乗せた、頼もしい背中に見えました。

どんなことにも真剣に向き合うことが出来、多くのことは乗り越えられる。それを伝えられた私は、親として幸せでした。ストライダーは五才までの競技です。

今、下の息子とまた一つひとつ上を目指して、家族で頑張っています。

『思いやりこそ力』

柿木 賢太郎
（普通科16期生）
消化器内科医
プロ雀士

同窓生の皆様、初めまして。普通科16期生の柿木賢太郎と申します。

私は現在、関東の病院にて消化器内科医として働く傍ら、最高位戦日本プロ麻雀協会所属のプロ雀士として競技麻雀の選手をやらせて頂いております。

簡単な経歴と致しましては、高校を卒業後、立命館大学に指定校推薦→アメリカン大学に留学→何故かアメリカで麻雀を覚える→東海大学医学部に編入→麻雀にドップリハマる →卒業後医師として働き始める、という流れで今に至ります。

医師という仕事は「思いやりこそ力」という校訓を最も活かせるもののひとつだと思っております。私は病院内での業務の他に訪問診療にも携わらせて頂いておりますが、特にこの訪問診療では、病気そのものだけではなく、患者さんの置かれた環境や生活も診ていかなければなりません。経済的側面や家族構成ひいては家族関係、地理的要素など、患者さんを取り巻く環境を統合し、患者さんのQOLを出来る限り高くできる方法を考えています。そしてその根本にあるものは、患者さんとご家族を思いやり彼らの気持ちを汲み取るという、まさに母校で学んだ大切な気持ちです。

一方、競技麻雀では「思いやりこそ力」という校訓を全く活かすことができない、、、と思いきや、意外と活かせている側面があります。麻雀は１対１ではなく４人で行う競技ですので、他の３人が時としては味方になることもあるのです。３人がそれぞれどういうことをしたいのか、それを感じて思いやることは競技で勝つ上で必要不可欠な要素となります。

「思いやりこそ力」その言葉を胸に今日も私は診察に向かい、帰りに少しだけ雀荘に向かいます。家族への思いやりも、忘れずに。

ONSHI

message 恩師から

小林　雅美 先生（国語）

現在も受け継がれるもの

卒業生の皆さん、御元気でお過ごしでしょうか？

平成元年に着任しましたので、もう30年近い日々をこの泉ヶ丘校で過ごしたことになります。当時は極めて先進的であった「アジアに目を向け、韓国への研修旅行を行っている国際科」に魅力を感じて、縁あって公立高校から泉ヶ丘校に移ってきました。女子ばかりの時代の国際科、中学、高校6年コースと担任を持ち、今は高校3年コースの3年生の担任をしています。時代も様々、コースも様々、本当にいろんな経験をさせて頂きました。最後の担任のクラスが、再び国際科であることに不思議な巡り合わせを感じています。そこで思い出話を少しばかり。

初めて研修旅行に参加したほぼ30年前の韓国は、まだ、街の中にチマチョゴリ・パジチョゴリを着た方が多く見受けられました。ソウルの街も今のように大きなビルは少なく多くが韓国式の建物で、街なかでは、日本人を見る目に厳しいものが感じられることもありました。研修旅行の事前研修では訪問をためらう生徒さんも少なからずいるのですが、淑明・董花の両女子校の生徒さんとの交流の後は涙を流して別れを惜しみ、韓国に対する印象もすっかり変わって晴れやかに帰国するのが常でした。人と人との交流がいかに重要であるかを訪問のたびに感じたものです。

韓流ブーム、Kポップの人気を経て、日本と韓国の距離も随分近くなりました。韓国の街の様子も人々の服装も日本と変わりなくなっています。それでも、昨年の韓国研修旅行の前には不安を感じる生徒さんが少なからずいました。30年以上前の学校創立時に、「遠くて近い隣国」韓国の、伝統ある高校との交流・研修旅行を選択された見識に、敬意を払うとともにこの学校につながる一人として誇りを持っています。克服すべき多くの困難があったでしょうが、その苦労を補って余りある成果を手にすることができていると思っています。また、当時の男子ばかりの普通科も、「ひと味違う進学校」をめざし、本当に「すごい」先生方が大勢、生徒を鍛え上げていらっしゃいました。

時代が移れば、社会が求めるものも変化し、学校といえども変わっていきます。それでも、学校として高い見識を持つこと、また教員の気概は、変わらずにあるものです。社会で活躍される卒業生の存在が、在校生の誇りとなり、泉ヶ丘校の財産となるということも変わらないことのひとつです。皆さんにも、泉ヶ丘校の卒業生であることを誇りに思っていただいていると信じています。思い出話がたいそうなところに行き着いてしまいました。

皆様のますますのご活躍とお幸せを心より祈念しております。

砂山　幸彦 先生（英語）

月日が経ってもかわらないもの

最近、他の学校から来られた先生がこんなことを言われていました。

「この学校は、よく卒業生が来ますね。それに、とても楽しそうですね。」

確かに、多いときは10人以上の卒業生が、それぞれ自分の教えてもらった先生を探して、職員室や教科室、廊下などで話している姿を見かけます。卒業生たちは、懐かしがっているというよりも、今もこの学校の生徒であることを確認しているかのようです。

ふだん、共に生活していて何も感じなくても、その人がいなくなるかもしれない、または本当にいなくなったとき、その人をどう思っていたかがわかるものだと思います。中学、高校生時代、泣いたり笑ったり悩み考えたりしながら過ごす日々はやがて終わります。そのとき初めて、その時間と場所がどれほどかけがえのないものだったかが実感できるのではないでしょうか。卒業生たちを見ながら、そんなことが感じられるのです。

私が泉ヶ丘校に初めて来た20数年前は、もっと小さな学校でした。中学校は2クラス、高校普通科が3クラス、国際科が2クラス。中学校と普通科は男子生徒、国際科は女子生徒と別れていました。最初は中学校と普通科にいて、私にとってここは男子校でした。それが現在、高校は1学年8クラスにもなり、学校全体が共学になりました。以前の男子校舎に今は女生徒の声が響いています。

このように制度が変わり、校舎が増え、生徒はもちろんのこと当時の先生方の大半がいなくなっても、変わらずにあるものがあると私は感じています。言葉にするのは難しいですが、それでも無理に言えば、自由だとか屈託のなさとでも言うのでしょうか。卒業生たちはそれに再会するために来るのではないか。

教科室の窓の外に欅の葉が光ります。私もやがてこの校舎を去って行きますが、そのときになってようやく、私がこの場所をどう思っているのかがわかるのだろうと思います。

新幹事大学生 キャンパスライフ

大学に入学して3ヶ月が過ぎ、「毎日が楽しい！」という2人の大学生活を紹介！

campus life

古東 真歩

関西学院大学 社会学部（32期生）

Maho Koto

Voice

大学生は勉強、遊び、バイト、サークルと忙しいですが、その分毎日が充実していてとても楽しいです!! 大学生のうちにやりたい事を全部できたらいいなと思います。

1 Day Schedule

START

- 8:20 起床 — 2限からの日は比較的ゆっくり起きれるので楽ですが、1限のある日は6時起きと眠たいです。
- 9:10 2限目 — 英語の授業は全て英語で行われます。集中して聞くので授業が終わったらすごく疲れますが、英語を聞く、話す力がつくと信じがんばっています。
- 12:40 お昼休み — 生協でお弁当を買って教室で食べたり、中央芝生でピクニックをしたりとても楽しい時間です。ケーキを買ってきて中央芝生で友達の誕生日会をしたこともありました。
- 15:10 4限目 — 心理学入門という授業をとっているのですが、授業中に脳の実験のビデオを見たり、脳の構造を学んだり、生物が好きなわたしは毎週楽しみにしています。
- 16:20 5限目 — 1週間に1日だけある5限目です。5限目になるとお腹も減るし、眠たいしで結構大変ですが、レポートの書き方などこれから必要な基本的な事を学ぶ授業なのでがんばって受けています。
- 19:00 サークル — 所属しているフットサルサークルの練習に行きます。女子もプレーできるサークルなので、友達や先輩とワイワイしながら楽しんでフットサルをしています。先輩との繋がりも大切にしています。
- 23:00 帰宅 — サークルがなくても、友達と遊んだり、バイトに行ったりといつも帰るのが遅くなります。すぐにお風呂にはいって、明日の学校の用意をしてから寝ます。明日着ていく服も朝悩まないでいいように用意してから寝るときもあります。

田和 直樹

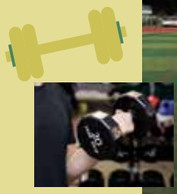
関西大学 法学部 法学政治学科（32期生）

Naoki Tawa

1 Day Schedule

START

- 7:00 犬の散歩 — 犬の散歩　犬の散歩をすることが僕の毎朝の日課です！
- 9:00 1限目 — 中国語の授業はネイティブの先生が授業をしてくれます。中国語はアクセントが難しいですが喋れるようになると楽しいです！
- 10:40 2限目 — 週1回の体育の授業でテニスを選択しています！ とても楽しいです！
- 13:00 空きコマ — 空きコマはトレーニングルームで筋トレをします。今年中にベンチプレス100キロが目標です！
- 14:40 4限目 — 英語の授業では映画を使い授業をします。春学期はプラダを着た悪魔を見ています。毎回、続きが気になります。
- 17:00 部活動 — 僕はアメリカンフットボール部に所属しています。練習はきついですが、楽しいです！
- 21:00 ミーティング — アメフトには攻撃隊形や守備隊形がたくさんあるので今は覚えるのが大変です。
- 23:30 帰宅 — 家に帰るとすぐにお風呂に入って寝ます。



Voice

勉強も部活も遊びも全部がんばります!!!

同窓会 Report

住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局までご連絡ください。また、ホームページの住所変更届けボタンをクリックし、フォームに入力するだけで簡単に手続きができます。よろしくお願いいたします。

普通科30期同窓会

普通科30期生　藤原　茉奈美

平成29（2017）年1月9日成人の日、新阪急ホテルにて、成人同窓会を開催しました。中高共に過ごした仲間と先生、そして保護者の方々も参加して頂いてのパーティーとなりました。出席率は、なんと先生も驚きの９割超え！出席者全員に楽しんで頂きたく一年前から準備を進め、この日を迎えました。

午後1時、晴れの姿で学校に集合。お世話になった先生方に会いに行きました。そしてドレスに着替え午後7時、会場へ。集合写真を撮り、開会セレモニー。先生方の挨拶があり、授業によく聞いた懐かしい言葉で会場が笑い声で包まれました。

6年間の思い出をまとめたスライドショーでは、先生も目に涙を浮かべて見ていました。そして、ビンゴ大会！景品は何が当たるかわからず、最後まで大いに盛り上がりました。午後9時半、先生から閉会の言葉。そして感謝を込めて、花束を贈りました。帰る時には校章が入ったタンブラーをプレゼントし、最後までサプライズづくしでした。この日は一生思い出に残る1日となりました。また多くの仲間と先生方に会えるのを楽しみにしています。

普通科5期・国際科4期　合同クラス会・バーベキュー大会

普通科5期生　田中　尚寛

平成28（2016）年9月3日、アゴーラリージェンシーにて普通科5期と国際科4期の合同クラス会が行われました。恩師の先生方も含め29名の参加がありました。（担任の先生方全員のご参加がありました）

司会者による開会のあと、恩師代表として岩﨑嘉蔵先生よりご挨拶を頂戴しました。「ご指名ですので・・・」と謙遜してご挨拶を始められましたが、今もなお「現役」の教育への熱意を語られると、会場全体が一気に学生時代にタイムスリップしたかのような雰囲気になりました。

卒業以来初めての再会という方も多かったのですが、その後は美酒美食を囲み昔話があちらこちらで飛び交い、まさに「旧交が温まる」というひとときを楽しみました。

最後に幹事代表として相澤（鹿嶋）さん（国際4）からクラス会開催にあたっての熱い思いが語られ、あっという間のクラス会が幕を閉じました。

その後、会場をかえ2次会が行われました。登校長先生も駆けつけていただき再び昔話に「火が付く」場面がありました。（ご参加の恩師の方にあらためて御礼申し上げます）

平成29（2017）年5月27日、二色浜ヨットハーバーにて普通科5期・国際科4期のバーベキュー大会が行われました。

前年11月6日に行われた同窓会総会・懇親会に参加したメンバーが中心となり卒業生本人だけでなく家族も楽しめる会をという趣旨で開催に至りました。好天にも恵まれ家族を含め30名超の参加がありました。（10名近くのご家族の方の参加がありました）

ハーバーオーナーでもある岩﨑洋一君の「海を知り尽くした男」の名演出による豪華食材バーベキュー、大型ヨットによるクルージング、釣りなど子供たちも楽しくてしょうがないという企画が満載でした。卒業生も多忙な日々のなか「非日常」を満喫できる一日となりました。（当日、広報委員会から岸本君＝普通科6期が取材に駆けつけてくれました）

普通科18期・国際科17期同窓会

普通科18期生 鎌倉　司、新倉　由大

去る平成28（2016）年11月20日、大阪・心斎橋にあるお店を貸し切り、普通科18期と国際科17期の合同同窓会を執り行いました。1次会には先生方を含めて45名の皆様にお集まりいただきました。

担任を務めていただいた先生方との思い出話や、懐かしい笑い話、結婚や子供が生まれた等の近況報告、そして未来への展望の話と、様々な会話が交わされ、2時間という時間があっという間に過ぎていきました。

その後、一次会に参加が叶わなかった同級生が合流し、二次会も大盛況。三次会まで続き夜まで話が尽きませんでした。

このように、大変に盛況な同窓会となったこと、お忙しい中お集まりいただいた先生方、そして遠方からでも快く集まっていただいた同級生みんなのおかげです。

今では日本全国に散らばってしまっていますが、同窓会を開催することで、今でも深い絆で繋がっていることを実感した同窓会でした。

今後も2年に1度のペースで開催していくことを考えておりますので、ぜひ幹事の輪を広げていき、さらに多くの同級生に集まっていただければと思います。

普通科13期・国際科12期同窓会

普通科13期生　林　健太郎

平成29（2017）年8月13日ウェスティンホテル大阪にて普通科13期生・国際科12期生の同窓会を開催いたしました。

「同窓会をしよう!!」そう決まったのはひょんなことがきっかけでした。とある休日に偶然にも高校の同級生に再会。昔話に花が咲き「皆、元気にしてるかな～？」という話しに。自然な流れで「同窓会」というキーワードが出て、その日のうちに開催日まで決め、準備を進めることとなりました。開催準備においては同級生、泉ヶ丘同窓会事務局、先生方にもご協力いただき無事に同窓会を開催することができました。当日は同級生約50名、卒業時に担任していただいた6名の先生方にもご出席いただき非常に賑やかで楽しい会となりました。3時間の同窓会だけで話しが尽きるわけもなく2次会、3次会と気心知れた友と久々の再開を心ゆくまで楽しんでいただけたと思います。

最後になりましたが、参加してくださった先生方、同窓生の皆さん、本当にありがとうございました。また、今回出席できなかった同窓生の皆さん、次回は是非!!　お会いできるのを楽しみにしております。

普通科22期6年コース同窓会

普通科22期生　山崎（旧姓:水谷）玲子

昨年、帝塚山学院泉ヶ丘中学校22期生の同窓会を開催致しました。今回も中学時代にお世話になった担任の先生方にも参加して頂くことができ、お互いの近況報告や思い出話に花を咲かせ、楽しい同窓会となりました。

卒業してから10年、先生方や同級生と再会した瞬間、皆不思議と昔へタイムスリップしたように会話が弾み賑々しい会でした。それぞれに様々な経験を重ねたことで、母校で学んだことをさらに感謝できるように成長し、やはり帝泉で過ごした学生時代は宝物だと再認識することができました。毎回オリンピックイヤーに開催しているこの同窓会ですが、次回は東京オリンピックの年の開催予定となります。今回参加できなかった方も次の機会では一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

最後になりましたが、今回の同窓会開催にあたり御協力して頂いた先生方、同級生の皆様、本当にありがとうございました。次回も皆様御協力よろしくお願い致します!!

普通科3期同窓会

普通科3期生　細川　博

平成28（2016）年12月29日、大阪・長堀橋のRestaurant SANGEN にて普通科３期生の同窓会を開催しました。

ことの発端は、平成28年6月に開催された、「普通科1～3期＆国際科1～２期の合同同窓会」に遡ります。このとき、急な開催決定にも関わらず普通科3期だけでも20名以上が集まりました。その場で、「今度は同級生のオトコだけで集まろうや！」と盛り上がったのです。準備期間はたっぷりとありましのたで、8名の幹事で何度も集まり、SNSを使った勧誘から、アナログな電話攻撃まで、あらゆる手段で動員に尽力しました。

「遠方在住の同級生たちにも集まってもらいたい」との思いから年の瀬の開催としたのですが、その効果もあり、東京からも数名、遠くはニューヨークからも参加者があり、合計約40名の同級生が集いました。

同級生の子田くんが営むお店を貸切で使用させていただいたため、終始とてもアットホームな雰囲気。全員がマイクを持って近況報告をしたのですが、同級生ならではの遠慮のない質問やツッコミで盛り上がり、終了時間も大幅に遅れる事態となりました。

柔道部 普通科3期～22期 国際科18期合同同窓会

普通科19期生　朴 是英

平成29（2017）年1月4日、大阪難波の紅炉庵にて、柔道部　普通科3期～22期、国際科18期の合同同窓会を行いました。

24名ものOB、OGが参加し、中高6年間お世話になりました恩師の木内秀和先生を囲み、会は大いに盛り上がりました。木内先生に乾杯のご発声を頂いた後に、各自が近況を報告し合いました。

柔道部を立ち上げた3期から最年少の22期まで、今だから話せる練習時や試合の思い出話に華を咲かせました。今回を機に柔道部同窓会を定期的に企画し、これからも先輩方や後輩との繋がりを大切に深めて参りたいと思います。

告知　普通科9期・国際科8期（1994年卒業）同窓会のお知らせ

皆さんいかがお過ごしでしょうか？早いもので卒業から20年あまりの月日が経ちました。久しぶりに旧交を温めたいと思います。

平成29（2017）年
12月30日（土） 14時～予定
場所：大阪市内予定

◎参加希望の方は、下記まで8月末日までにご連絡頂ければと思います
［普通科］井上 淳

帝塚山学院 **東京同窓会**

平成29（2017）年
9月9日（土） 11:30～（11:00開場）
都市センターホテル　コスモスホール

［お問合せ］市瀬（高田）有子 090-8514-7868　下澤（西）容子 080-2336-6217
連絡先57回卒　桶谷良樹（男子部）090-8160-3990
Mail　tokyotezuka570909@gmail.com

平成30（2018）年
10月14日（日） 11:30～14:00（11:00受付開始）
都市センターホテル（リーガロイヤル系列）

［お問合せ］高橋（上村）美智留 090-3034-9212
連絡先58回卒　岸本（松島）江理子 090-8307-7662
河合（小田）貴美　090-9467-2037

帝塚山学院 **徳島同窓会**

平成29（2017）年
11月11日（土） 18:30～
ルネッサンスリゾート鳴門

［お問合せ］松本拓哉（普通科4期生）携帯 090-2785-2401
Mail　implant0626@yahoo.co.jp

ホームページアドレス **www.tezuka-izumi.jp/**

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局
TEL&FAX.072-293-8680 E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

幹事'S 同窓生探訪

泉ヶ丘校の卒業生で現在、気軽に訪ねられるお仕事をされている方を誌面でご紹介することで、職業を通じて先輩・後輩の枠も超えた交流ができればいいなと思い、取材しています。

取材：岸本威也（普通科6期生）・池田謙吾（普通科6期生）

二色ハーバー オーシャンワン

岩﨑　洋一（普通科5期生）

青空に映える真っ白なクラブハウス、ハーバーに浮かぶヨットを眺めながらアイスコーヒーを飲めば、そこは日常を離れた別世界……。

そんな気分を味わわせてくれるのが、普通科5期生の岩﨑洋一さんがいらっしゃるマリーナ、二色ハーバー　オーシャンワンです。

大阪屈指の海水浴場である二色の浜、そのすぐ隣に位置するオーシャンワンは、岩﨑さんのおじい様が大阪で最初のマリーナとして1965年に創業されました。

岩﨑さんは中学時代から本格的にヨットに打ち込み、国体にも出場されるなど、選手として活躍されました。

高校卒業後は帝塚山大学経済学部へと進学。卒業後、25歳の時には世界選手権の日本代表としてイタリアへも行かれました。この時の試合で欧米人に対するイメージが変わり、ドイツ人はこわい、イギリス人は紳士じゃない（笑）と感じたそうです。

それと共に、会場だったガルダ湖の港にも強い印象を受け、それが現在のマリーナづくりにも活かされているそうです。

また、試合（勝負）にこだわり過ぎないヨーロッパのスタイルも大切だと考え、ジュニア向けのヨットスクールではランチタイムを楽しく過ごしたりするなど、様々な工夫をされています。ちなみに、岩﨑さんは（公財）日本体育協会セーリングマスター上級コーチの資格をお持ちなので、指導に関しては折り紙つきです！

現在、小、中学生13名の方がスクールで学んでいます。子どもさんのちょっとオシャレな習い事として普及していけたらと考えていらっしゃいます。ヨットは自転車やスキー同様、一度習得すれば体が覚えるそうで、子どものときに経験しておけば、大人になって余裕ができてから再び楽しむこともできそうですね。

船の販売、保管、整備といったヨットハーバーとしての機能に加え、クラブハウスでは喫茶や食事だけの利用も可能だったり、敷地内にはバーベキュースペースもあるなど、船を所有していなくても楽しく過ごせる、海があるライフスタイルを楽しめる施設としてマリーナを利用してほしいとお話してくださいました。

取材日の翌週、普通科5期・国際科4期のプチ同窓会がこちらのマリーナで行われ、筆者も撮影係としてお邪魔しました。南国を思わせるバーベキュースペースで久しぶりの再会に話が弾み、目玉イベントとしてヨットに乗ってのクルージングを楽しまれるなど、終始和やかで楽しそうな先輩方の姿が印象的でした。

みなさんも近くで味わえる非日常を求めて、岩﨑さんのマリーナを訪ねてみてはいかがですか？

OCEAN ONE
〒597-0063 大阪府貝塚市二色港町１
TEL 072-423-0064
http://oceanone.blue.coocan.jp

カーポートマルゼン

米岡　功二（普通科19期生）

♪タイーヤマルゼン　タイヤマルゼン
　♬ホイールマルゼン　ホイールマルゼン

TVCMでおなじみのこのフレーズ、ご存じの方はきっと多いのではないでしょうか？　そのCMのセンターとして、今やすっかり会社の顔となったのは、普通科19期生の米岡功二さんです。

米岡さんが現在取締役副社長を務める（株）カーポートマルゼンは、米岡さんのおじい様が創業された「丸善タイヤ商会」に起源をもちます。当時の道路や車両事情を反映し、パンク修理業からのスタートでした。1974年に現在の社長であるお父様が入社、1984年には「レーシングスタジオ丸善」としてタイヤ以外のカー用品の販売を開始されました。1986年に現在の「カーポートマルゼン」に社名を変更。この頃から、大手量販店との競争が激しくなり、生き残りを図るためにタイヤ・ホイールの販売に特化する方針を固め、創業地である住吉区の店舗に当時としては珍しいホイールのみの展示ショールームが設けられました。しかしまだまだ小規模で知名度も低かったので、仕事が終わってから手作りのチラシを作って近隣のクルマのワイパーに挟んだり、ポストに配ったりすることもあったそうです。

1989年にカー雑誌に初めての広告を掲載。集客が主な目的でした。1995年にはいよいよ通信販売を始めます。当初は電話での受注でしたが、時代の流れとともにインターネットでの販売へと変遷し、宣伝も雑誌主体からTV、ウェブへとその姿を変えてきました。

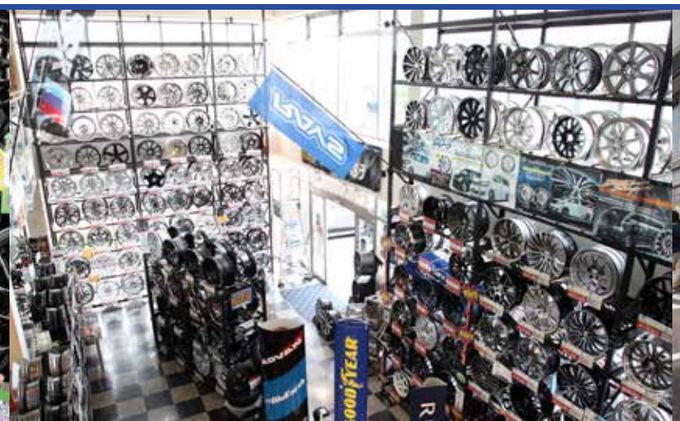
TVCMに出演したことの効果は大きく、買い物に立ち寄ったコンビニでも声をかけられるようになった米岡さんですが、高校在学中は消防士など、直接、人を助ける職業に就きたいと考えていたそうです。

兵庫県立大学工学部へと進学されますが、大学時代にクルマの良さを見直したり、担任の紀先生からの「どんな仕事でも間接的に人助けになる」というアドバイスもあって、2008年に入社、4年ほど販売の現場を担当し、現在は仕入れや在庫管理などの業務に携わっています。

さて、あのインパクトのあるCMですが、最初からうまくいったわけではなく、初めて制作したものは硬い印象の企業紹介のようで反響が少なく、次作では起用した芸人がCMの完成後程なくして解散してしまい、放送できなくなるなどの苦労もありました。そして現在のCMを手掛けた方のアイデアで、軽快なリズムに乗せて業務内容を紹介したところ、これがヒットにつながりました。反響は思わぬところにも拡がり、子どもから大人まで、タイヤを転がして例のフレーズを口ずさむ動画が投稿サイトでは数多く見られるそうです。

タイヤ・ホイール合わせて常時約50万本の在庫を誇り、即納体制を整えているというカーポートマルゼン。タイヤのことなら、米岡さんが相談に乗ってくださいますよ！

株式会社 カーポートマルゼン
〒590-0003　大阪府堺市堺区高須町 2-2-10
TEL 072-228-5555
http://www.maluzen.com



泉ヶ丘通信

部活動報告 Club Activity Report 2017

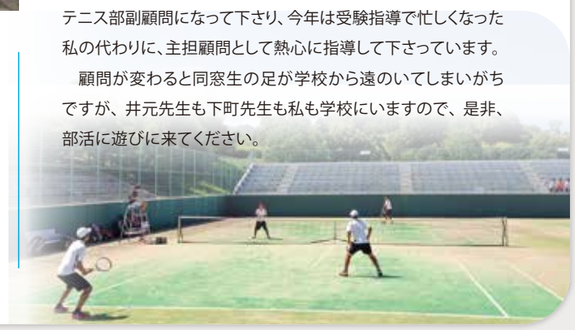
高校男子硬式テニス部

高校男子硬式テニス部　　顧問 須藤　慶之

同窓生のみなさん、こんにちは。男子硬式テニス部の現況を報告させて頂きます。

私が硬式テニス部の顧問に就任し、今年で 6 年目になります。井元先生、下町先生の後を引き継ぎましたが、現在もこれまでのテニス部のあり方を変えることなく、生徒たちが主体的に練習メニューを考え、ルールを作り、テニス部を運営しています。本校は学業がハードで補講もあり、部活をするには最高の環境とはいえませんが、「与えられた環境を最大限に生かす」「自分の可能性に挑戦する」ということをモットーに、前向きに取り組んできました。そのような状況の中、平成 26（2014）年と平成 27（2015）年は、大阪高等学校秋季テニス大会の団体戦で 2 年連続大阪ベスト 8 の成績を残し、部活動を推進している学校とも肩を並べる成果を残しました。現在は、高校男子テニス部だけでも部員が 50 名近くまで増え、中高男女合わせますと、150 名以上の部員がテニス部に在籍しています。コートが 4 面しかないので過密状態ですが、グループ分けをしたり、時間を区切ったり工夫をしています。また、昨年度から新任の冨田貴大先生が高校男子テニス部副顧問になって下さり、今年は受験指導で忙しくなった私の代わりに、主担顧問として熱心に指導して下さっています。

顧問が変わると同窓生の足が学校から遠のいてしまいがちですが、井元先生も下町先生も私も学校にいますので、是非、部活に遊びに来てください。



コンピュータ部

部長　高校１年２組　中村　知香

コンピュータ部では主にイラスト班、ゲーム班、MMD班の３つの班に分かれて活動しています。

イラスト班では主にペンタブレットを使ってコンピュータ上で絵を描いたり、文化祭でシールを作ったりしています。今までは文化祭だけを１つの目標として活動してきましたが、今年から高校生はパソコン甲子園・いちまいの絵CG部門に応募することが決まり、それぞれが最高の「いちまい」を描きあげるために日々イラストと向き合っています。

ゲーム班ではUnity、WOLF RPGエディター、RPGツクールという３つのソフトを使ってゲームを制作しています。シューティングゲームや短編RPGなど各々が作りたいものは全く違いますが、先輩後輩同士意見を出し合いながらそれぞれが文化祭に出すためのゲームを完成させるという目標の下、制作に取り組んでいます。

MMD班ではMikuMikuDanceというソフトを使って3Dモデルを動かしたり、躍らせたりして動画を作っています。班員の多くが中学１年生で構成されており、最初は不安も多かったようですが今では班員同士の距離も近くなりコミュニケーションも増え、互いに切磋琢磨しながら初めての動画制作に気合いが入っています。

今はまだ、今までコンピュータ部の主力であった先輩方が引退されてから日が浅く、部としてまだまだ未熟な面ばかりです。ですが、数ある部活の中からコンピュータ部を選んでくれた新入生や今まで以上にやる気に満ち、最高の作品を作ろうとしている部員たちと共に私たちコンピュータ部は成長していきたいと思っています。

新任のご挨拶

副校長
江口　宗茂

同窓会の皆様、初めまして。本年度より副校長を拝命いたしました江口宗茂です。

本校とのご縁は平成21（2009）年4月より生徒募集の一員として参加したことに始まります。以来3年間平成24（2012）年3月まで入試対策部に属しました。当時中学入試に関わった生徒のみなさんも、その多くの方が現在大学2回生へと進んでおられます。

その後、本校を去り、私学での学校長を4年間務めました。昨年4月より泉ヶ丘校の教育アドバイザーとして再びお世話になり、本年度より副校長を拝命いたしました。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ。」という山本五十六氏の言葉を座右の銘とし、生徒や先生方と共により良い学校づくりに努めます。

本校には、大きな可能性を感じると同時に課題も散見いたします。「すべては子どもたちのために」という自らの教育観と「生徒、保護者の声なき声の代弁者」としての方向性を違えることなく行動しなければならないと考えます。

伝統に裏打ちされた品格、幅広い知性と豊かな感性を併せ持つ帝塚山学院泉ヶ丘校の可能性を実現するために、微力ながら尽力いたします。同窓会の皆様、今後ともご指導ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

卒業生 母校に帰る

数学
津村 真実 先生
（24期生）

皆さんこんにちは。数学科の津村です。母校を卒業してから早いもので8年が過ぎ、泉ヶ丘に着任して今年で4年目になります。母校に戻って教員がしたいという夢が現実のものとなった今、昔の思い出に浸りながらも毎日楽しく幸せをかみしめながら過ごしています。母校に対する愛は誰にも負けないつもりです（笑）。

しかし、まだまだ不慣れなことも多く、考え込んだり悩んだりする日々もあります。教員の立場として戻って来たこの場所は、私にとって生徒の時とは異なる新たな学びの場でした。そんな中で目にしたのは、当時と変わらない先生方の姿、活気に満ち溢れた生徒たちの姿です。熱心に優しく、時に厳しく接している先生方。クラブや勉強、友人たちとの時間を有意義に過ごしている生徒たち。その様子を見ていると、私も生徒だった頃の懐かしさを思い出して嬉しくなります。

当時に比べ学校を取り巻く環境や中身が変わった部分もありますが、そこで生活する生徒たちはますます元気に明るく過ごしているように思いますし、恩師の先生方はいつまでも私の心の支えになってくださっています。そして、教員として戻って来てからも、生徒たちと一緒に泉ヶ丘祭や体育大会のような大きな行事をはじめ、HRや終礼、クラブ活動を通して、いつの間にか私まで生徒に戻って楽しんでいる時もあるほどです。

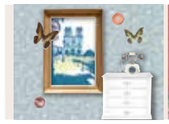
私にとってはこれからの長い教員人生でも、生徒たちにとっては人生の中でかけがえのない一瞬の中学・高校時代。遠く高いあこがれを目指して過ごしていく日々を支え、「泉ヶ丘校で過ごして良かった。」と最後に笑顔で卒業できるよう、今後も全力で努めていきたいと思います。

泉ヶ丘祭

9/16(土)
10:00～14:00

今年の目玉は、
「インスタ映えPHOTO by チェキ！」

今、流行りのインスタ映え写真！オリジナルの壁を用意して待っています。友達と楽しい写真を撮影してみませんか？



大人可愛い
雑貨背景

出会えたら幸運な
「ハートの壁」

同窓会 カフェ cafe

B棟地下1F グループ教室6
スタート 10:00～
ラストオーダー 14:00

数量限定 泉ヶ丘ロゴ入りセット

今年は私たち（32期生）が幹事です！

アドミッションセンター
Admission Center

平成30（2018）年度　入試のお知らせ

［中高6年一貫コース］

- 特別選抜コース
- 医進コース
- 特進コース

［高校3年コース］

- S特進コース
- 特進コース

【中学入試関連行事の日程】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

入試関連	入試説明会	プレテスト	プレテスト個別懇談会 教科別アドバイス会
日　程	10月7日（土） 14:00～	11月3日（金・祝） 8:20～	11月19日（日）
備　考	児童・保護者対象の説明会です。 〔予約不要〕	小学6年生対象 〔事前要予約〕 保護者対象の入試説明会も同時開催。	プレテスト参加者対象 〔事前要予約〕

【高校入試関連行事の日程】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

入試関連	オープン キャンパス	入試説明会	個別見学会
日　程	11月4日（土） 14:00～	12月2日（土） 12月9日（土） 14:00～	12月15日（金） 12月16日（土） 12月18日（月） 12月19日（火）
備　考	中学3年生対象 〔予約不要〕	生徒・保護者対象 〔予約不要〕	生徒・保護者対象 〔事前要予約〕

▶ 6年コース・3年コース共通の行事として、9月23日（土・祝）体育大会見学・学校相談会があります。［事前要予約］

受験生向け公式アプリが登場。

入試に関する最新情報を手軽に素早くチェックできます

公式アプリをスマートフォンやタブレット端末にダウンロードしておくだけで、
入試に関する最新情報を手軽に素早くご覧いただけます。
また、入試イベントの申し込みやWeb出願、ルート案内など便利な機能も
ついています。ぜひ泉ヶ丘校公式アプリをご活用ください！

ダウンロードはこちら　帝塚山学院泉ケ丘　検索　iOS　Android

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター　TEL.072-293-1416　FAX.072-293-1417　E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp

国際交流より　ホストファミリーを募集しています

泉ヶ丘校開校以来、AFS・YFU・AYUSA等の留学派遣団体を通じ、毎年英語圏と非英語圏から各一名ずつ、留学生を受け入れてまいりました。最近ではロータリークラブや日本国際交流振興会（JFIE）からも長期留学生を受け入れ、今後ますます異文化交流の機会が増えると期待しております。また、留学生が言葉や文化の違いを乗り越え学ぶ姿は、本校の生徒たちにとって大きな刺激となっております。

しかし、近年これらの団体はホストファミリーを見つけることに苦労している状態で、本校では受け入れ家庭の確保に協力しております。卒業生のご家族の中で、異文化に触れ、交流することに魅力を感じていただける方を募集しております。ホストファミリーにご興味のある方はご連絡ください。宜しくお願い致します。

TEL 072-293-1221（代表）国際交流　吉田 有美

第7回 帝塚山学院泉ヶ丘OB（青雲会）ゴルフコンペ開催!

青雲会 第７回幹事
船中 大輔（普通科８期生）

平成28（2016）年8月21日に天野山カントリークラブで帝塚山学院泉ヶ丘高等学校同窓会ゴルフコンペ「第7回青雲会」が開催されました。

普通科1期生から20期まで男女39名の参加者で楽しくゴルフをさせていただきました。真夏の暑い日で熱中症も心配されましたが、皆様無事でホールアウトできまして幹事としては、一安心しました。来年は、もう少し涼しい時期にという提案もありました。

優勝は、今回も10期の犬伏君。圧倒的なスコアで連覇です。
さすが、Ｍｒダブルペリア!!今回は、初心者やスコアに自信がない方でも楽しんでいただけるように飛び賞も高級和牛がもらえたりと喜んでいただきました。

毎回新メンバーが参加くださり、久しぶりの方も気軽に楽しんでいただける楽しい雰囲気でゴルフしております。

同窓会総会や異業種交流会で先輩や後輩とのお付き合いも深くなり、ゴルフも気兼ねすることなく楽しめました。

グリーンの外から直接入る「チップイン賞」は、次回にキャリーオーバーされましたので総取りを狙って来年チャレンジしてください。

2次会は堺東の「炭炭」に場所を移し、皆様お疲れのところ楽しく宴会させていただきました。

来年は王者犬伏君ら10期が幹事です。ゴルフ初心者でも楽しめますのでぜひ一緒に回りましょう。

ご参加していただきました皆様お疲れ様でした。またご一緒できるのを楽しみにしております。

成績表（ダブルペリア）

順位	氏名	グロス	HDCP	NET
優勝	犬伏　健介	77	4.8	72.2
準優勝	播元　優作	99	26.4	72.6
3位	上田　和毅	83	9.6	73.4
4位	西上　孔雄	95	21.6	73.4
5位	竹之内教博	81	7.2	73.8
6位	林　美加	85	10.8	74.2
7位	大橋　裕子	99	24.0	75.0
8位	松本　拓哉	111	36.0	75.0
9位	髙原　聖子	90	14.4	75.6
10位	大野　真嗣	89	13.2	75.8

第８回 青雲会ゴルフコンペのお知らせ

今年は少し遅めの開催です。晩夏のゴルフを同窓生と一緒に楽しみませんか？

日時　平成29（2017）年 9月17日（日）　7時28分スタート
場所　泉ヶ丘カントリークラブ 岩湧or 葛城スタート 各8組、計16組予定。
費用　プレイフィー 20,000円程度（食事含まず）

■お問い合せは、こちらまで
TEL＆FAX　072-293-8680
メールアドレス　t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

異業種交流会のお知らせ　帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 ～第2回異業種交流会のご案内～

会員交流委員長　船中大輔（普８）

昨年4月に行われまして好評でした異業種交流会を多くのリクエストもあり企画しました。卒業生での交流の一環として、さまざまな業種で活躍の先輩・後輩・同級生との繋がりを実感できる会にしたいと思います。

ご自身の仕事のPR、また他業種の情報で、自身の世界を広げるいい機会になるのではないでしょうか？

同じ高校の同窓生なのでカジュアルな服装で楽しい雰囲気で開催いたします。

また今回はより気軽に参加できるよう色々な企画も考えております。

是非、同窓生をご紹介・ご同伴いただけますと幸いです。

●日時　平成29（2017）年10月22日（日）PM2:00 ～ 4:30
●会場　THE WALL　06-6212-1730　大阪府 大阪市中央区 西心斎橋 2-17-9
●会費　普通科 1 期～ 10 期（際 9 期）3,000円　普通科11期～ 20期（際19期）2,000円　普通科21期～ 32期　1,000円

IZUMIGAOKA DOUSOUKAI

第9回 泉ヶ丘同窓会総会

学校法人
帝塚山学院
理事長
野村　正朗先生

校長
登　純一郎先生

普通科8期生　飯坂 卓也

平成28（2016）年11月6日（日）、難波のスイスホテルにて第９回泉ヶ丘同窓会総会・懇親会が開催され、同窓生146名、来賓・先生方24名の合計170名のご参加がありました。

今回は、総会委員会としての運営を普通科5期、国際科4期、普通科8期、国際科7期の常任幹事が担当させていただきました。目標とした200名の参加には及びませんでしたが、イベントも盛りだくさんで、たいへん盛況な会となりました。

今回は新たな試みとしてキッズルームを設置し、子育てで忙しくなかなか参加できない同窓生もご参加いただくことができました。

総会では、会計報告、活動内容報告、会則変更、新役員紹介等が滞りなく執り行われ、また、同窓会会長として長年ご尽力された細川前会長から松本新会長へのバトンタッチと、花束贈呈のサプライズがございました。

懇親会では、独身カップリング企画で女性同士1組を含む3組の独身カップルがゲームを勝ち抜き、各カップルに3万円相当の高級料亭・レストラン利用のお食事券のプレゼントがされました。恒例の抽選会では、1等10万円相当の高級旅館・ホテル利用の宿泊券をはじめ、同窓生からご協賛いただいた多数の景品も含め、合計80数本の景品の当選があり、大いに盛り上がりました。

懇親会後の2次会、3次会においても、たくさんの方々のご参加をいただき、各世代の垣根を越え、同じ泉ヶ丘卒業生として繋がりを深める非常に良い機会になりました。

今回総会委員長の役割を務めさせていただきましたが、諸先輩方をはじめ、多くの卒業生の方々にご協力をいただき、泉ヶ丘卒業生として、非常に深い繋がりやあたたかさを感じることができました。

この繋がりは、泉ヶ丘卒業生としての財産であり、同窓会を今後もっと大きな組織としていくため、まだご参加されたことがない卒業生の皆様も、是非一度ご参加をいただければと思います。

みなさんも登録してみませんか？

同窓生の活躍を、お勤め先や経営されている会社名などをWeb上で掲載し、ご紹介しています。新たな交流の場として、つながりや発見、新しいビジネスモデルがここから生まれるかも…!? ホームページを活気あふれるものにしていくためにも、みなさんのご登録を待ってます！

掲載期間は10月から翌年9月までです。お申込及び更新期間は毎年7月頃を予定しております。掲載の方には、同窓会協力金（2口以上、1口2,000円）へのご協力をお願いしております。掲載に際しては、簡単な審査がございます。ご掲載のご希望に添えない場合もございますので、ご了解ください。掲載内容により、文字数の関係上調整を行う場合がございます。ご了解ください。

ホームページアドレス
http://www.tezuka-izumi.jp/

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2-1 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局
TEL&FAX.072-293-8680
E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

同窓会より

幹事総会報告

会長　松本 隆司
（普通科1期生）

平成29（2017）年5月20日（土）午後3時より、泉ヶ丘校隣の学院大学の大講義室をお借りして、幹事総会を開催いたしました。1期生から昨年度の卒業生である32期生まで総勢36名の幹事が出席しました。

冒頭、今年度の役員・委員長体制を紹介し、登校長先生から泉ヶ丘校の現状などをご説明いただきました。そして、前年度の同窓会活動を各委員会から報告いただき、28年度決算・会計監査報告、会則変更及び29年度予算をご承認いただいた後、今年度から立ち上げた会員交流委員会及び学校情報委員会など7つの各委員会から今年度の活動予定が報告されました。

幹事総会後の懇親会は、新任幹事である32期生の歓迎会を兼ねて「はや　魚太郎　泉北の郷」にて行いました。恒例の新任幹事の自己紹介で盛り上がり、1期生から32期生までの幅広い年代で交流を行うことができました。

同窓会活動に参加したいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ同窓会事務局にご連絡ください。お待ちしております。

平成28（2016）年度 会計報告

収入の部（28年度決算）

会費	5,000,000	雑収入	1,380
総会会費収入	1,189,000	受取利息	313
総会関連費引当金取崩収入	500,000		
寄付金収入	15,000	合計	6,705,693

支出の部（28年度決算）

贈答費	463,022	総会関連費	2,407,937
通信費	123,235	泉ヶ丘祭関連費	58,156
東京同窓会関連費	86,000	泉ヶ丘同窓会in東京関連費	53,120
会誌費	1,172,841	備品消耗品費	128,277
活動費	275,224	会費返金（転学・退学・入学辞退者）	180,000
人件費	2,198,520	雑費	8,694
広報費	61,344		
		合計	7,216,370

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会会則 ［平成29（2017）年5月20日付で施行］

会則が変更になりましたのでご確認ください。

旧	新
第1章　総 則	
第1章	
第1条　本会は帝塚山学院泉ヶ丘同窓会と称する。	
第2条　本会は、会員相互の友誼を厚くし、帝塚山学院同窓会連絡協議会の一員として、各同窓会との連帯を図り、母校並びに帝塚山学院の発展に寄与することを目的とする。	
第3条　本会は、事務局を帝塚山学院泉ヶ丘校に置く。	
第4条　本会は次の事業を行う。 1. 総会及び懇親会の開催。 2. 会誌及び名簿の発行。 3. その他、目的達成のために必要な事業。	第4条　本会は次の事業を行う。 1. 同窓会総会及び懇親会の開催。 2. 会誌及び名簿の発行、並びにWebサイトの運営。 3. その他、目的達成のために必要な事業。
第2章　会 員	
第5条　本会の会員は、正会員、準会員、特別会員とする。 1. 正会員は、帝塚山学院泉ヶ丘高等学校普通科・国際科・中学校を卒業したものをいう。ただし準会員を除く。 2. 準会員は、帝塚山学院泉ヶ丘高等学校普通科・国際科・中学校に在学中のものをいう。 3. 特別会員は、帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校の現旧教職員及び本会に対する功労者で役員の会が推薦したものをいう。ただし正会員を除く。	第5条　本会の会員は、正会員、準会員、特別会員とする。 1. 正会員は、帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校を卒業したものをいう。ただし準会員を除く。 2. 準会員は、帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校に在学中のものをいう。 3. 特別会員は、帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校の現旧教職員及び本会に対する功労者で常任幹事会が推薦したものをいう。ただし正会員を除く。
第3章　役 員	
第6条　本会は次のような名誉役員、役員、会計監査、相談役を置く。 1. 名誉役員　名誉会長　1名 名誉顧問　若干名 2. 役員　会長　1名 副会長　若干名 会計　2名 常任監査　全幹事の3分の1以下 幹事 相談役　若干名 3. 会計監査　2名	第6条　本会は次のような名誉役員、役員、会計監査を置く。 常任幹事　全幹事の3分の1以下
第7条　名誉役員、役員、会計監査、相談役の選出方法は、以下のように行う。 1. 名誉会長は、帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校校長を推す。 2. 名誉顧問は、学院長及び帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校元校長を推す。 3. 会長、副会長、会計、会計監査は、常任幹事会が推薦し、幹事総会で承認を得るものとする。 4. 常任幹事は、常任幹事会が推薦し、会長が委嘱する。 5. 幹事は、各年度の正会員より、若干名を会長が委嘱する。 6. 相談役は会長経験者またはそれと同等の役員にあった者で、常任幹事会が推薦し、幹事総会で承認を得るものとする。	第7条　名誉役員、役員、会計監査の選出方法は、以下のように行う。
第8条　役員及び会計監査の任期は2年とし、退任後2年以内に終了する最終の会計年度の決算を承認する幹事総会の終結時までとする。	

旧	新
第9条　役員及び会計監査の職務は以下の通りとする。 1. 名誉会長、名誉顧問、相談役は、会長の相談に応じる。 2. 会長は本会を代表し、会務を総括する。また、連絡協議会に於ける本会代表を兼務する。 3. 副会長は会長を補佐し、会長の支障ある時はその職務を代行する。 4. 会計は財務を担当する。 5. 常任幹事は、本会の庶務及び事業の運営を分掌する。 6. 幹事は会長の指示を受けて、会務を処理する。 7. 会計監査は財務の監査を行い、常任幹事会及び幹事総会にその結果を報告する。又、うち1名は連絡協議会会計監査を兼務する。	7.　会計監査は財務の監査を行い、常任幹事会及び幹事総会にその結果を報告する。又、うち1名は連絡協議会会計監査を兼務する。
第10条　1. 常任幹事会は、会長、副会長、会計、常任幹事により構成する。 2. 常任幹事会は、本会の執行機関とする。	**第4章　常任幹事会、幹事総会、同窓会総会、各種委員会**
第11条　1. 幹事会は、会長、副会長、会計、常任幹事、幹事により構成する。 2. 幹事会は、会計監査の報告を受け、決算、年度事業計画及び予算の承認を行う。	第10条　1. 常任幹事会は、会長、副会長、会計、相談役、常任幹事、幹事により構成する。 2. 常任幹事会は、委任状を含め構成員の2分の1以上の出席により成立する。 3. 常任幹事会は、本会の執行機関とする。
第12条　常任幹事会並びに幹事会は、原則として会長が招集し、議事を審議する。ただし、構成員の3分の1以上の要請があった時、会長はこれを招集する。	第11条　1. 幹事総会は、会長、副会長、会計、相談役、常任幹事、幹事により構成する。 2. 幹事総会は、委任状を含め構成員の5分の1以上の出席により成立する。 3. 幹事総会は、本会の決議機関とし、役員の承認、決算及び予算の承認、年度事業計画の承認、及び本会則の変更承認を行う。
第13条　常任幹事会及び幹事会の決議は、出席者の過半数の同意により決する。	第12条　常任幹事会並びに幹事総会は、原則として会長が招集し、議事を審議する。ただし、構成員の3分の1以上の要請があった時、会長はこれを招集する。
第14条　常任幹事会が会務遂行のため必要と認めた時、臨時委員会を設けることが出来る。臨時委員会は会長が委嘱する。	第13条　常任幹事会及び幹事総会の決議は、出席者の過半数の同意により決する。
	第14条　同窓会総会は、幹事総会で決議する各事項（第11条第3項）を承認することができる。また、事業の報告、役員の紹介を行う。
	第15条　同窓会総会は会長が召集し、開催することにより成立する。
	第16条　同窓会総会の決議は、出席者の過半数の同意により決する。
	第17条　1. 常任幹事会が会務遂行のため必要と認めた時、委員会を設けることが出来る。委員会は会長が委嘱する。 2. 委員会の委員長は、常任幹事より会長がこれを委嘱する。 3. 委員会の委員は、正会員より委員長がこれを委嘱する。
第4章　総　会	
第15条　総会は本会の最高議決機関であり、事業の報告をし、役員の承認を行う。	
第16条　総会は会長が召集し、開催することにより成立する。	
第17条　案件の内容によっては、常任幹事会または幹事会がその議決を代行し、事後会員に報告する。	
第4章　総　会	この章削除

旧	新
第5章　会　計	
第18条　本会の経費は、会費及び寄付金を持ってこれに充てる。	
第19条　会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。	
第20条　連絡協議会の決定による脱出金を、年度毎に負担する。ただし、臨時に分担金の要請があった場合は、常任幹事会の承認を得て負担する。	
第21条　会計は、毎年4月に前年度の決算の監査を受けた上、新年度の予算とともに常任幹事会での審議を経て、幹事会の承認を得なければならない。	第21条　会計は、毎年4月に前年度の決算の監査を受けた上、新年度の予算とともに常任幹事会での審議を経て、幹事総会の承認を得なければならない。
第22条　会長は、本会の資産管理者とする。	
第6章　会　費	
第23条　会費は終身会費とし、入学時に納入する。ただし、中途退学したものに対しては、本人の申し出により会費の払い戻しをする。	
第24条　常任幹事会が必要と認めた場合、臨時会費を徴収することができる。	第26条　本会の会計報告及び本会則の変更は、原則として会誌（年1回発行）内において正会員に通知する。
第25条　特別会員は、終身会費を払う必要がない。	
第7章　補　則	
第26条　本会の会計報告は、原則として会誌（年1回発行）内において行い、その承認を得る。	
第27条　本会則の変更は、常任幹事会が提案し、幹事総会又は同窓会総会出席者の過半数の同意で承認するものとする。	
附　則 1. 本会則は平成4年9月5日をもって施行する。	
附　則 1. 平成4年9月5日施行された会則は平成5年3月31日をもってこれを廃止する。 2. 本会則は平成5年4月1日付で施行する。 3. 本会則は平成9年8月9日付で施行する。 4. 本会則は平成11年5月23日付で施行する。 5. 本会則は平成15年5月3日付で施行する。 6. 本会則は平成19年11月18日付で施行する。 7. 本会則は平成22年11月14日付で施行する。 8. 本会則は平成24年11月18日付で施行する。 9. 本会則は平成26年10月19日付で施行する。 10. 本会則は平成28年11月6日付で施行する。	11. 本会則は平成29年5月20日付で施行する。

会長のご挨拶　～「つながり」を大切に～

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
会長　松本 隆司
（普通科1期生）

日頃より同窓会活動へのご参加・ご協力、誠に有り難うございます。

平成28（2016）年11月の同窓会総会で承認をいただき、細川前会長（普3）の後を受けて会長を務めさせていただいております。昭和58（1983）年の開校と同時に入学しました思い入れのある母校に、同窓会会長として関わることができましたこと、大変光栄に感じております。

平成3（1991）年に発足いたしました泉ヶ丘同窓会は、会員数が約8,000名にまで発展しております。同窓会発足時から、学年幹事として何らかの関わりを持ってまいりましたが、当時は組織運営として合格点には程遠いものでした。しかし、歴代の会長をはじめ役員の方々のご尽力により、今では盤石な組織に変化しており、感謝の言葉を尽くせません。これらをしっかりと受け継ぐとともに、さらに発展させていきたいと考えております。手始めに今年度より、学校情報委員会及び会員交流委員会の2委員会を新たに設置いたしました。

創立30年を超えた母校では、数名の同窓生が教鞭を執っておられたり、同窓生がご自身のお子さまを通わせてくださり、PTAとしてご活躍されています。このように、同窓生と母校は、深い「つながり」があります。また、いろいろな職業で活躍されている同窓生の皆様は、同窓会総会や学年同窓会だけでなく、職場や日常生活などで「泉ヶ丘」の「つながり」を発見し、交流されています。

泉ヶ丘同窓会は、各学年の幹事を中心に同級生との「つながり」をお手伝いするとともに、世代の違う同窓生とも「つながり」を深められるような活動を展開しております。また、首都圏在住の同窓生には、東京委員会が中心となって、「つながり」を深めていただけるようにしております。「泉ヶ丘」という「つながり」を発見していただき、皆様で大切にしていきましょう。

今後とも、同窓会の活動に積極的にご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29（2017）年度　泉ヶ丘同窓会　組織図

役員・委員会構成

役員

役　職	氏　名	卒回
会　長	松本　隆司	普1
副会長	細川　博	普3
	田中　尚寛	普5
	井上さくら	際5
	島田　裕典	普13
会　計	得田知栄子	際3
	内田　仁生	普6
監　査	菊之井秀年	普3
	比楽　一郎	普7
相談役	平井　啓一	普2
	山根　敬介	普4

学校情報委員会

役　職	氏　名	卒回
委員長	山本　淳史	普4
副委員長	垣内　真里	際6

会員交流委員会

役　職	氏　名	卒回
委員長	船中　大輔	普8
副委員長	鎌倉　司	普18

総会委員会

役　職	氏　名	卒回
委員長	井上　淳	普9
副委員長	矢吹真一朗	普10

広報委員会

役　職	氏　名	卒回
委員長	岸本　威也	普6
副委員長	池田　謙吾	普6

泉ヶ丘祭実行委員会

役　職	氏　名	卒回
委員長	菊月　義哲	普7
副委員長	村田　綾子	際6

東京委員会

役　職	氏　名	卒回
委員長	奥村　幸恵	際2
副委員長	大野　義明	普3
副委員長	中川　恵介	普7

事務局

役　職	氏　名	卒回
	大野　晴子	際1
	阿部　聖子	際6

運営費の寄付のお願い

日頃運営費節減に努めているものの、卒業生数が増加していることによる固定経費（会誌費、通信費など）の増加、泉ヶ丘同窓会の活動の活性化による負担増大により、年間の収支が赤字になっています。この状況を少しでも改善するために、皆様から運営費の寄付（2,000円）をお願いしたいと存じます。ご協力いただけるのでございましたら、同封の振替用紙（28期以前の同窓生の皆様に同封）で郵便局より泉ヶ丘同窓会宛にご送金をお願いいたします。寄付をいただいた方のお名前を次号の青雲に掲載させていただきます。

訃報

心よりご冥福をお祈り致します。

国際科２期生
石田　麻紀様

元国語科教諭
榎本　久先生

元国語科教諭
有田　圭介先生

編集後記

広報委員長　岸本 威也
（普通科６期生）

最近、仕事関係や地域の活動など、さまざまな集まりに出席する機会が増えました。他の集まりに出席するようになって改めて思うのはやはり、同窓会の持つ独特な和やかさと安心感です。総会や同期会など、時には取材で、時には運営側として同窓会を見てみると、会場のあちらこちらで笑顔が見られ、話に花が咲いている様子というのは同窓会ならではのものだと感じますね。卒期は違えど、同じ学校で時間を過ごした思い出はほかの何物にも代えがたいものです。最近集まってないな～という学年のみなさん、そろそろ集まってみませんか？最近集まったよ～という学年のみなさん、どんどん集まりましょう！

Tezukayama Gakuin Izumigaoka Dousoukai
Seiun 青雲
VOL.24
発行年／平成29(2017)年8月
編集・発行　帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
制作・印刷　株式会社シンカ・コミュニケーションズ

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2-1
TEL・FAX.072(293)8680
HP: http://www.tezuka-izumi.jp/
〒586-0009 河内長野市木戸西町1-5-7
TEL.0721(52)5934
HP: http://www.cinca.jp

帝塚山学院

泉ヶ丘　東京同窓会のご案内

平成29(2017)年

9.2 Sat

講演会　16:30〜17:30（16:00〜受付）
懇親会　18:00〜21:00（17:30〜受付）

場　所　セルリアンタワー東急ホテル
https://www.ceruleantower-hotel.com/

東京都渋谷区桜ケ丘26-1
講演会:<宴会場>朝霧
懇親会:<宴会場>昴

会　費

OBOG生(1〜21期)	8,000円
OBOG生(22期〜)	6,000円
OBOG生(大学生)	4,000円
同伴者(卒業生でない方)	10,000円
お子さま(3歳以上)	3,000円

このたび4年ぶりに<東京同窓会>を開催いたします。
第1回目は約100名の同窓生にご参加いただき大盛況となり
同窓会を機に、東京でも卒業生の輪が広がるようになりました。
これからも東京での同窓生のつながりをもっと広げたいと思っています。
今回は、同窓生のパネルディスカッション(講演会)も企画しています。
OBOGのみなさんのご参加をお待ちしています！！

<東京委員会一同>

<講演会>

〜キャンサーペアレンツ代表 西口洋平氏 の講演会を企画しました〜

1979年生まれ、大阪府出身。
帝塚山学院泉ケ丘高校普通科13期生。
2015年2月、35歳の時にステージ4の胆管がんの告知を受け、
孤独感、不安感、喪失感を持つ。
周囲に同世代のがん経験者がいない状況のなか、
インターネット上でのピアサポート（仲間同士の支えあい）サービス
「キャンサーペアレンツ〜こどもをもつがん患者でつながろう〜」
を立ち上げる。現在も、抗がん剤による治療を続けながら、
仕事と並行して、「がんと就労」「がん教育」などのテーマで
講演や研修なども行いながら活動中。
https://cancer-parents.com

Special Guests

〜今回もJazz演奏で華をそえていただきます〜

平松加奈profile

帝塚山学院小学部・中学部・高等部の出身。
ジブシージャズスタイルの演奏で国内外年間200回以上の公演をこなし、
ファンを魅了するヴァイオリニスト＆コンポーザー。
2014年、NHKで半年間放送された三谷幸喜脚本による人形劇
「シャーロックホームズ」の劇伴音楽を全曲書き下ろし担当。

新澤健一郎profile

ピアノ・キーボード奏者、作曲家・編曲家
ジャズ・ミュージシャンとして渡辺香津美など多くの音楽家と共演。
ピタゴラスイッチ「めかぬか」「きょうのスレスレ」のピアノや
NHKドラマ「本棚食堂」の音楽制作、PRISM、水樹奈々、CM音楽など
幅広い演奏と作品がある。昭和音楽大学非常勤講師。

<お申込みはいずれかの方法でおねがしいます>

お申込み締切り　8／20(日)まで

○下記申込みサイトより入力いただく
https://goo.gl/NFZwQC
QRコードはこちら→

○下記申込書にご記入いただき同窓会事務局までFAX

申込書　FAX送信先 **072-293-8680**

フリガナ		年齢　歳	男・女	フリガナ	
お名前				旧姓	
コース	普通科 ・ 国際科 （　　期生）	同伴者			
ご住所	〒				
電話番号	（　　）　　ー	Eメール			

出欠確認のために事務局より連絡させていただくことがあります。メールアドレスは必ずご記入ください!!
今後は、東京同窓会での忘年会やゴルフコンペ等の企画もメールにてご案内させていただきます。
詳しい情報は同窓会WEBSITEにて!!　http://www.tezuka-izumi.jp/